

東京電力グループ、LGBTQ などに関する取り組みの
評価指標「PRIDE 指標 2025」で最高位「ゴールド」を4年連続で受賞

お知らせ

2025 年 11 月 14 日
東京電力ホールディングス株式会社

東京電力グループは、一般社団法人 work with Pride^{※1} が策定した、職場における LGBTQ に対する取り組みの評価指標である「PRIDE 指標 2025」^{※2} で最高位「ゴールド」を4年連続で受賞しました。これは、すべての評価指標を満たした企業に贈られるもので、当社グループの継続的な DEI^{※3} 推進の成果が認められたものです。



work with Pride Gold 2025 認定ロゴマーク

当社グループは、「安心して快適なくらしのためエネルギーの未来を切り拓く」という経営理念の体現において、DEI の推進を経営戦略の重要なテーマと位置づけ、様々な取り組みを行っています。

事業環境の変化に対応し、社会の皆さまの期待を超える価値を創造し続けるためには、多様な人財が互いに尊重し合い、それぞれの力を最大限に発揮できる組織づくりが必要不可欠です。そのために、これまで職場における心理的安全性確保のためのサポート体制拡充や公平公正な成長機会の提供を強化してまいりました。

今年度は、これまでの取り組みにより制度や仕組みが整ったうえで、さらに「インクルーシブな企業文化」を確実に体現するべく、社員一人ひとりが DEI を深く理解し、「自分ごと」として捉えて行動に移すことを促す、以下の新たな施策を展開しています。

- ・全社員を対象とした LGBTQ に関する「対話型ワークショップ」の開催
- ・DEI ガイドブック「～インクルーシブな職場づくり～LGBTQ」の作成・社内展開
- ・LGBTQ を含む DEI の理解を深めるための社員必修型 e ラーニング（全 5 回）の実施

当社グループは、今後も LGBTQ を含む多様な人財一人ひとりが安心して自らの能力を最大発揮し、共創を生み出し続ける企業グループを目指すとともに、すべての人が安心して暮らせる社会の実現に貢献してまいります。

＜当社グループのこれまでの取り組み＞

- ・ 社外 HP で性的指向・性自認の言葉を付して方針を明文化
- ・ LGBTQ などの性的マイノリティへの差別・ハラスメントを禁止し、配慮すべき事項などを明文化した社内規定の制定
- ・ 同性パートナーを婚姻関係と同等に扱う給与・福利厚生制度の適用
- ・ 通称への配慮（業務遂行に合理性があれば、通称を使用可能）
- ・ 支援者ネットワーク「Allies in TEPCO ネットワーク」の設立
- ・ 全社員対象研修、管理職研修など様々な場面での意識啓発を実施
- ・ 「Allies in TEPCO」ステッカーを配布し、自発的な理解を促進
- ・ 相談窓口の設置（内容に応じてコンプライアンス窓口、ハラスメント相談窓口、人権窓口などに相談可能）

※1. 「work with Pride」は、企業などの団体における LGBTQ+など性的マイノリティに関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する団体。

※2. PRIDE 指標は、以下の 5 つの指標から構成されており、年々見直される条件のもと、各指標内の評価項目について指定の項目数を満たすことにより表彰されるものです。
（当社グループが受賞した「ゴールド」は、5 つの指標すべてを満たすことが条件）

1. Policy（行動宣言）
2. Representation（当事者コミュニティ）
3. Inspiration（啓発活動）
4. Development（人事制度・プログラム）
5. Engagement/Empowerment（社会貢献・渉外活動）

※3. ダイバーシティ、エクエティ&インクルージョンの略称。

当社グループにおいては、多様な人財が互いに尊重し合い、それぞれの力を最大限に発揮できる組織づくりを指す。

以 上